



声 定年後でも働く意欲のある人のための仕事場を作ってほしい。また、三好市の特産品を販売できるような場所を作ってほしい。

答 雇用の場の支援策として、優良企業の誘致や合同就職面接会、再就職や新卒者に対する補助制度を進めています。三好管内の求人倍率は非常に厳しい状況ですが、ハローワークなどと協力しながら、引き続き働く場

声 昨年の2度の台風で、川が増水して市道が冠水し、道路が通れなくなった。災害はいつ起こるかわからないので、早急に護岸を修繕してほしい。

答 近年は、いわゆるゲリラ豪雨といわれる集中的に大雨が降る傾向があり、昨年のような洪水はいつ起こってもおかしくありません。市としても、ご要望の場所の災害対策はたいへん重要と考えており、管理している徳島県に確認したところ、護岸の修繕は冠水防止に有効であり、ただちに現地を確認して対策を検討しますとの回答を頂いております。



声 三好郡市にはお産のできる病院がありません。三好病院が新しくなりますが、市から産科ができるように働きかけることはできないでしょうか？

答 現在改築している県立三好病院には、新しくお産のための設備ができる予定ですが、産科医不足の

声 市内の民生・児童委員が一同に集まる民生児童委員全体研修会を、お互いに意見を出し合い、気軽に質問できる形式にしてはどうでしょうか。具体的で実践的な知識を習得でき、活動への意欲も高まると思います。

答 全体研修会を、講演つに分け、それぞれのグループで民生・児童委員の日頃の活動や課題を意見交換し、交流を深めていただければと思います。また、各旧町村単位での民生・児童委員協議会の活動としても、視野を広め資質の向上を目的とした様々な研修事業がありますので、ぜひ活用をお願いします。

声 市が建設を計画している交流拠点施設について、近くには体育館も市役所もあるので、代用できると思う。建物を建てる必要があるのでしょうか？

答 現在進めている交流拠点施設整備計画は、音楽会の開催や演劇を観たりすることのみならず、人たちが集まり、普段はなかなか触れることの出来な文化を鑑賞できる、交流拠点施設として整備したいと考えています。文化施設が大都市に偏在するなか、この計画には、地域が自主

声 廃校になったりしている小学校の校舎を、山間部に住んでいる市民のための公営住宅や、お年寄りが楽しく時間を過ごせる、つどいの場などにしてはどうですか？

答 市内には休校17校、廃校11校、合計28校



声 若い人が集落を後にして出て行きます。過疎化を止める方法は何かなのでしょうか？また、Iターン・Uターンなど、若者に定住してもらう方法はないのでしょうか？

答 三好市では、集落の見回りなどを行う「集落支援員」や地域活性化をお手伝いする「地域おこし協力隊」、休廃校になった校舎の活用や都会の企業の誘致など様々な取り組みを行っています。過疎対策には特効薬はなく、国に対しても地域住民にとって決め細やかな過疎対策事業などを要望していくなどいろいろなおことに一つ一つ取

声 市が出資する第三セクター会社の目的は何ですか。赤字経営を続けていては、いけないのではないですか？

答 市が出資する8つの第三セクター会社は、利益を上げることだけではなく、地域の振興や雇用確保など、それぞれの目的において設立をしています。収支は赤字でも、その経済活動が地域に及ぼすプラス要因もあるなど第3セクターが果たす役割も大きく、設立の目的を果たしていると考えています。経営については、市議会の特別委員会や市の検討委員会で議論をしており、引き続き赤字を少なくする努力をしていきます。

移動市長室

お聴きした皆さまの

平成24年度の移動市長室を、市内5か所で開催しました。参加いただいた皆さまからご意見・ご要望など、延べ70件の貴重なお話を聴かせていただきました。

そこで今回、その移動市長室の様子を一部抜粋、要約してお知らせいたします。(回答は市長または担当部長・課長がしたものです)

お問い合わせ先 三好市秘書広報課 ☎72-7646

声



声 まちづくりには地域住民が会合などに一人でも多く参加してもらおうことが大切だと思います。市役所の職員などが率先して参加してくれば、行政に対する信頼も高まると思います。

答 今年10月1日から施行される「三好市まちづくり基本条例」は、「市民主役のまちづくり」を目的に、市民の権利、果たすべき役割と責務について定めており、市職員のまちづくりへの参加も努めるよう定めています。この基本条例に基づき、地元の会合などに職員が積極的に参加するよう周知徹底していきます。

声 昼間に火災が発生し性が仕事で留守にしており女性が家にいることが多く、そういう時には、女性に消防ホースの準備や火事の連絡係をしてもらえばいいのではないですか？

答 火災発生の際には、初期消火が重要であり、日頃から消火栓のある場所

声 廃校になったりしている小学校の校舎を、山間部に住んでいる市民のための公営住宅や、お年寄りが楽しく時間を過ごせる、つどいの場などにしてはどうですか？

答 市内には休校17校、廃校11校、合計28校



連載 地域おこし協力隊

活動報告

14

戦争体験を次世代へ

下川 徹

先日、山城町で、戦争を体験された方の取材と記録映像を撮影する機会をいただき、戦争の遺構が、いまだ市内に遺されているという現実を知った。

これまで、講演会や各種活動の中で、地域にある有形無形の文化財や伝承について、記録に残し、未来に活かす作業の重要性を主張してきた。

しかし、今回の取材は、今、生きて、その地域の歴史を伝えることのできる方々の存在が、いかにかけがえないものであるかとの思いを、改めて強くさせるものだった。



射的場、哨戒のため山上に構築された監視哨、そうしたものが確かに現存し、これを生の体験として語る人々、その自分史が地域史であり、これを記録として残すことが急がれるのではないかと、という認識。

歴史的事実の考証も重要だが、戦時中の日本にあつて、これほどまで清らかに、何の疑いもなく、ありのままの「今」を受け入れ、慎ましく気高く駆け抜けた一人の「人間」。そこから見える、今の日本と子どもたちには伝えることがある、との思い。だからこそ、延々と語ってくれたのである。

他の取材も同時に行われていたため、音の問題もあり、外での収録となったが、小学生の総合学習や、地域のお話会などにも出向く方である。

機会があれば、ゆったりとした場所で、子どもたちに語りかける姿を記録したいと思う。

今年も続けます

渡邊 聡

8月から、秋のイベントに参加しています。

昨年にも参加したのですが、平家まつりの創作劇に参加していません。どちらかと言うと真面目でない性格で長続きしないのですが、こればかりはほぼ皆勤賞で参加しています。劇の内容も昨年と大幅に変わり、より史実に近づいた感じですが、今年から、出演だけでなく制作や音響にも携わっており、一から劇を作り上げる楽しさを堪能しています。10月21日にかずら橋夢舞台で開催されますが、この芝居だけでなく襖からくりや太鼓、民謡もあり、楽しい一日になりますので、ぜひお越しください。

また、井川町に住んでいて、「なでしこ祭り」があるんですが、それに先立ち10月にはスポーツイベントのアーチェリー大会が井川グラウンドで開催されます。昨年にも参加したのですが散々な成績でした。今年は、初心者な

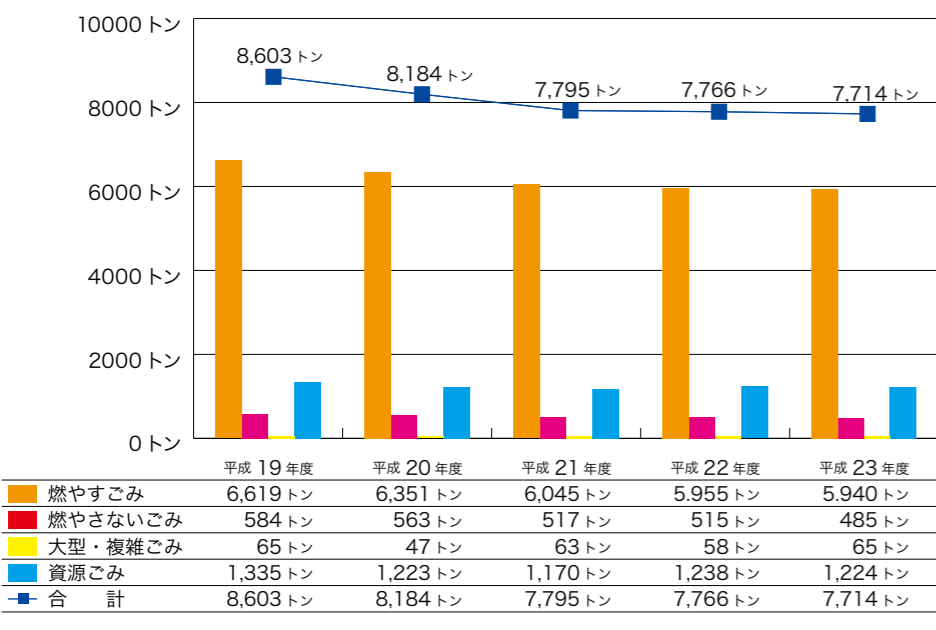


部から昇格して、30m先の的を射る部門で参加します。今年は、かなり気合も入っているのので頑張れそうな気がします。

以上が、私が地域おこし協力隊として、昨年から参加を始め、今年も続けているイベントです。アーチェリーは、オリンピックでも注目を集め、いくつからでも始められるんでお勧めです。

過去5年間の三好市の家庭ゴミ・資源物の排出量

平成23年度の三好市の家庭ごみの排出量(資源物含)は7,714トンでした。前年度と比較して、約0.7%の減少でした。資源物排出量については、1,224トンで前年度比約1.1%減でした。



ごみは
まだまだ減らせます
ごみの減量・リサイクルにご協力ください

三好市から排出される家庭ごみは、年々減少はしているものの、平成21年度以降はほぼ横ばいの状態が続いています。また、資源物の排出量も毎年ほぼ同じ数字となっています。

上記のデータからすると、ごみの減量はもう限界じゃないのと思うかもしれませんが、いえいえ、そんなことはありません。ごみはまだまだ減らすことができます。

■ざつ紙

ざつ紙とは、ティッシュやお菓子などの空き箱、封筒、包装紙、ダイレクトメールのパンフレットなどですが、これらが、燃やすごみの実に4割近くを占めます。これらざつ紙をリサイクルすれば、単純計算で1年で約2300トンものごみを減らすことができます。ざつ紙は、紙袋に入れて十文字に縛る、またはそのまま束ねて十文字に縛って、資源物として出してください。

■生ごみ

燃やすごみの約20%を占め、その約80%が水分です。水分を多く含むごみは燃焼効率が非常に悪く、焼却のた

めに多量の燃料の使用するため焼却炉への負担が増し、修繕費など多くのごみ処理費用がかかることとなります。生ごみは水切りを十分に行う、または乾燥させて出してください。

■缶、びん類

燃やさないごみの約4割が飲食用の缶、びん類で占められています。缶、びん類も貴重な資源物なので、資源物として出してください。缶は指定袋(透明にオレンジ色)、びんは中身の見える袋(ビニール袋、レジ袋など)に入れて出してください。

ごみ減量化は、私たち市民一人ひとりの問題です。ごみが減らなければ、限りある資源は枯渇し、ごみ処理施設や最終処分場は老朽化、満杯を早く迎えることになり、私たちの生活は行き詰まることとなります。

私たちがこれからも長く快適な環境で生活を送るためにも、ごみの減量化に積極的な協力をよろしく願います。

お問い合わせ先

三好市環境課
電話 72-3436



徳島ならではの伝統工芸である「竹人形」(阿南市竹人形伝承会製作)と、国民文化祭の4大モチーフの一つである「阿波藍」で染めた布を組み合わせた第27回国民文化祭限定のグッズが製作されました。

「まちが奏でるクラシックin三好市」公演会場にお越しの方の中から、抽選で10名の方にこの「藍竹人形やっとさ」をプレゼントします。どうぞお楽しみに。

■お問い合わせ先
三好市文化交流推進課
電話 72-7633

